事業者アンケートで見えた現状と課題

勤労福祉センター「アクシス」の今後の運営の在り方を検討するに当たり、現状と課題を把握するため、市内事業者1700社にアンケート調査を実施し、その結果に基づき分析を行いました。

■実施概要

⑴調査期間：令和6年11月11日～令和6年12月31日

⑵調査対象：①勤労福祉センター近隣事業者

②①以外の市内事業者（別紙１の方法で抽出）

合計1700社（うち調査票の不着28件）

⑶調査方法：①訪問②郵送（調査票記載のQRコードから電子申請（Web回答）あり）

⑷全回答数：338件（回答率20.2％）

①訪問10件②198件（窓口持参、FAXによる回答含む）、電子申請130件

■調査結果

１ 事業所情報

⑴業種

⑵事業形態

⑶従業員数（役員、パート、アルバイト、契約社員等を含む）

⑷事業所の所在地（市内に複数ある場合は主たる事務所の所在地）

●回答事業者のうち従業員が５人未満の小規模事業者が半数を超えている。

●回答事業者は白子・下新倉・新倉に所在する事業者が全体の６割を超える。（⇒近隣の事業者の回答率が高く比較的関心が高いことが推測される）

２　福利厚生制度

1. レクリエーション施設の提供
2. レクリエーション施設の所在地（⑴であると回答した方）※複数回答あり
3. レクリエーション施設の名称（自由記述）

アクシス、体育館

1. 従業員で構成されるサークル
2. サークルの活動拠点（⑷であると回答した方）
3. サークル活動拠点の名称（自由記述）

アクシス、和光市総合体育館、わこスポ（＝和光市スポーツアイランド）

●レクリエーション施設を所有していない事業者が９割を超えている。

●従業員で構成されるサークルはない事業者が９割を超えている。また、サークルの活動拠点が市内にあると回答した事業者は４社のみ。そのうち、勤労福祉センターで活動していると回答した事業者は１社。

３　休憩時間

1. 休憩時間の長さ

1. 休憩時間の過ごし方※複数回答あり

1. 休憩時間を過ごす場所（⑵でスポーツ（事業所外）と回答した方）※複数回答あり

●休憩時間は１時間である事業者が５割。

●休憩時間に事業所内外でスポーツをする、散歩する、といった体を動かして休憩時間を過ごす方は延べ３９件。食事以外の過ごし方として、スマートフォン利用、昼寝、読書など単独で過ごす方が多数。

●事業所以外の場所でスポーツをすると回答した方は４件。短時間でスポーツができる場所は限られていることが窺える。

４　勤労福祉センター「アクシス」について

1. 勤労福祉センター「アクシス」を知っているか、また利用したことがあるか。

●施設を「知っている」とする回答数が「知らない」とする回答数の１．６１倍と多く、施設の存在自体は回答者全体の半数以上が知っている。

●施設を利用したことがある回答者は全体の２３．８％、施設の存在を知っているが利用したことがない回答者が全体の３７．３％。施設は、一部の事業者にしか活用されていない状態であるといえる。

1. 利用したことがある部屋・設備

●アスレチックルーム、浴室等は個人利用の室場であるため、事業者の事業活動又は従業員のサークル活動等、事業所として活用した例は延べ５７件であると思われる。

1. 利用目的

●会議や研修に使用した例がある一方で、面接に使用した例や商談に使用した例はほとんどない。室場の大きさから、個別的な面談には利用しにくいことが考えられる。

1. どのような設備の充実が必要か

●施設を利用したことがある回答者は、WiFiや浴室設備の充実により、施設がより活用しやすくなると回答した事業が多い。

●訪問して聞き取りを実施した近隣事業者の中には、仕事後のトレーニングや浴室の利用が、従業員のリフレッシュになっていたと回答した方も複数いた。

●WiFiについては、オンライン会議の増加が、需要の背景にあると思われる。

1. 会社として利用したことがない理由

●利用したことがない理由では、「使う必要がない」という回答が最多数。

●「事業所から施設が遠い」、「交通の利便性が悪い」という回答も多く、施設へのアクセスの改善がなければ、施設内の設備の具合に関わらず利用に至る可能性は低い回答者が多数。

1. どのような設備があれば利用したいか

（その他回答例）

・宴会場・ジム・設備が追加されても、利便性が悪いので利用しない

●具体的な設備の拡充より、市内事業者の使用料金を減免することで、利用を検討する事業者が多い。

1. 今後利用したいと思うか（⑴で知らない・利用したことがないと回答した方）

1. 今後利用する際の利用目的

●これまでに利用したことがない事業者のうち、施設の概要を記したパンフレットを読んだうえで今後利用したいと回答した事業者は１６．９％であり少数派であった。

●利用する場合の使途としては、研修や会議、レクリエーションが多い。

1. 今後利用したいと思わない理由

（その他の回答例）

・長時間の外出が難しく、休日は和光市以外で過ごすことが多い。（和光市以外からの通勤）

・使用目的に合わない。

・利用希望の従業員がいないから

・周知してほしい

・自施設も存在するため現在は必要性を感じない。将来はアリーナを使用する可能性あり。

・駅から遠い。送迎バス等があれば良い。施設の周知をしてほしい。

●利用しない理由のうち「利用する必要がない」というものが多数。事業所で会議スペース等を所有している場合など、事業所外の施設を利用する必要性が低いと考えられる。

●「使い方がわかりにくい」という回答や、その他の理由として「施設の周知をしてほしい」という回答もあった。施設についての広報が利用促進につながる可能性がある。

５　その他、余白等に記載された意見

・個人で利用したいと思うが利用料など不明な点があり行ったことがない。

・現場で処分品がでるが使えるものがたくさんある。譲りますコーナーなどをつくってみてはどうか。

・PCで回答したい。自由意見記載欄が欲しい。

●利用者アンケートや市民アンケートのほか、事業者アンケートにおいても、自由意見の回答欄を設ける必要があった。

●アンケート調査票送付時に添付した施設概要に、料金表や室場ごとの利用者数等の情報を掲載することで、より回答しやすくできた可能性がある。